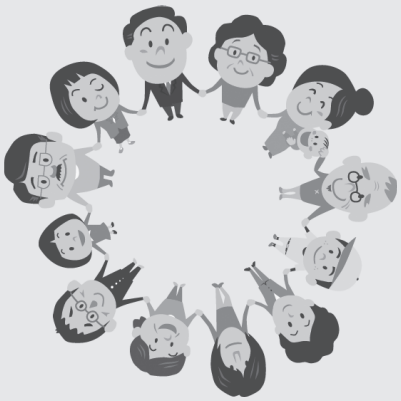
防災・減災について考えよう　vol.46　問 危機管理室（☎ 62-3145）

家族や地域と災害時の対応を話し合ってみましょう



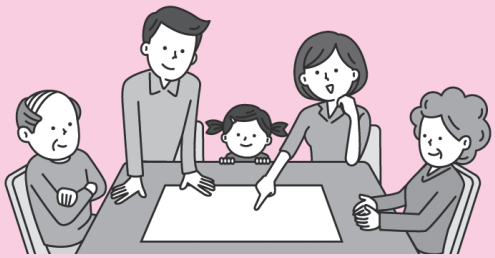
能登半島のような地震災害や風水害はひとごとではなく、市でもいつ起きてもおかしくありません。いざという時のために、必要な対応や備えについて家庭や地域で日頃から考えておきましょう。

【家庭】～まずは家族で次のことを話し合ってみましょう～

電気・水道・ガスが止まっても生活はできるの？

地震のときは何をする？大雨のときなどは？

3日間買い物をしなくても生活はできるの？



学校や仕事に行っている家族と連絡を取る方法は？

安全な避難ルートは？何を持っていく？

避難する必要はある？するなら場所はどこ？

備えておく必要があるものは？

話し合いをすると、課題や疑問が見えてきます。家族で考え、少しずつ備えましょう。また、災害時には、家族の安全が確保できたら近所や地域に協力しましょう。

【地域】～地域（防災会や組など）で次のことを話し合ってみましょう～

地震のとき、地域の被害状況や住民の安否は確認できる？

近所に支援が必要な人はいる？

地震のときは何をする？大雨のときなどは？

地域が孤立した場合どうするの？

地域内に避難所になるような施設はある？

地域でも、話し合いをすると課題や疑問が見えてきます。できれば地区防災計画を作成し、地域での対策を検討しましょう。

地区防災計画とは、地域住民みずからが災害に対する日頃の準備や災害時の行動など、自発的な防災活動に関する内容を記載して策定する計画です。地域のメンバーと災害に対する課題や対策などを相談し合い、できるところから少しずつ考えてみましょう。不明な点は、お気軽に危機管理室までお問い合わせください。

地区防災計画作成の手引き